

山村フォトニクス旧NEC真空硝子は 鈴木さんの雇用延長を決断せよ！

電機ユニオンが第10回目の団体交渉

電機ユニオンは10月6日、山村フォトニクス（7月からの新社名、旧NEC真空硝子）と鈴木喜美子さんの雇用延長問題に関する第10回目の団体交渉を行いました。

またしても、「検討中」を繰り返す

冒頭、会社側は下期の実行予算を編成中であり、厳しい経営状況のなかで、黒字体質にむけて努力していることを説明し、鈴木さんの雇用延長については「検討中」として回答しませんでした。

電機ユニオンは、NECグループから日本山村硝子グループの傘下に入った直後であり、直ちに利益が出るものではない、新たなグループでの展望を示すことが重要だと指摘しました。また、今春に早期退職した人数に匹敵する数の派遣労働者を入れていることや、2年続けての早期退職の募集で従業員に多大な犠牲を強いておきながら、管理職、特にNECからきている管理職が責任を取っていないことなどを厳しく批判しました。

雇用延長は会社負担増にはならない

会社側は、鈴木さんの雇用延長問題を多くの人が見ているとしながらも、従業員は自分に直接関係する5%賃金カットの解除などに強い関心を抱いていると述べました。

電機ユニオンは、賃金や一時金の減額は早急に止めるべきだという従来からの主張を述べた後、雇用延長は、会社の負担を増やすものでないことを明らかにし、鈴木さんの雇用延長を具体化する提案を行いました。

電機ユニオン、労使合意を進める具体的な提案を行う

電機ユニオンは、希望者全員の雇用延長や60歳以前の賃金カットの廃止などを柱とする提案をこれまでの団体交渉の場で行っています。

今回新たに、鈴木さんの雇用延長ができるように社内規定を改定する案や、希望者全員を対象にしている日本山村硝子の「継続雇用制度規定」の内容で労使協定する案など、労使合意を進めるための提案を行い、会社からの質問に答えました。

電機ユニオンは、次回の団体交渉で会社案を提出するように求め、団体交渉を終えました。なお、団体交渉の内容は社長に毎回報告され、社長からの指示も出されていることが今回の交渉で明らかとなりました。

鈴木さんが求めている雇用延長問題は、解決にむけて大きな山場を迎えました。

職場や地域の皆さんのいっそうのご支援をお願いいたします。

鈴木喜美子さんの雇用延長を 実現させましょう

NEC真空硝子（旧社名、7月から山村フォトニクス）本社地区で働く鈴木喜美子さんは、60才以降もNEC真空硝子で働き続けたいと雇用延長を希望していました。

しかし、会社は、労使協定に記載されている「雇用延長の適用者は標準以上の評価査定」を理由にして、鈴木さんの再三にわたる要望を拒否してきました。

鈴木さんは、「会社の雇用延長拒否は、原則は希望者全員を対象とするという高年齢者雇用安定法の趣旨に反する。納得できない」と、電機ユニオンに入り、電機ユニオンの団体交渉で雇用延長の実現をめざしています。

みなさんのご支援をよろしくお願いいたします



NEC & 関連労働者ネットワーク 2010年10月

ELICNEC

(連絡先) 田町: 九野 健三 090-9670-1150
玉川: 森 英一 090-4834-6876
府中: 益田 武廣 080-3389-0028
ELIC NEC URL: <http://www.elicnec.com/>

安心して働き続けられる職場を みんなの声・意見でつくっていきましょう！

山村フォトニクス労働組合は9月11日、新社名では初めてとなる定期大会・第49回大会を開催しました。日本山村硝子への合併など激動した1年間をふり返り、労働組合の役割が改めて問われる大会になりました。

雇用延長制度の改善を！

大会参加者から、賃金5%カット問題をまじえて、雇用延長制度の改善を要望する発言が行われ、労組委員長は「要望として会社に話す」と返答しました。

そのやり取りを受けて、鈴木喜美子さんは「親会社の日本山村硝子の雇用延長制度は、希望者全員が対象で、60歳からの選択であり、たいへん良い制度といえます。（劣悪な山村フォトニクスの制度を親会社に見習い）変えてもらいたい」と重ねて要望しました。

労組委員長は「よく検討する」と答弁しました。



鈴木さん「三度、リストラをやらせない取組みを」

鈴木さんは、労働者に犠牲を押しつける「合理化」をこの間に許してきたことを指摘し、「3度目のリストラをやらせないための具体的な取組みをしてもらいたい」「退職した人のその後はどのようになっているのか？調査してほしい」の2項目を要望しました。

労組委員長は「経営チェックを強める」「（退職者の動向を）トレースしていく」などを答弁しました。

安心して働きやすい職場は、みんなの声から

鈴木さんは「7月に日本山村硝子に吸収された職場は、将来への不安が高まっています。安心して働き続けられる職場にしていくためには、職場から、切実な要望や願いを労働組合にあげていくことが、とても大切だと思います」と、話しています。

今後、親会社となった日本山村硝子の施策が徐々に反映されていくことでしょう。親会社の良い制度はさらに良くして取り入れていく、悪い制度については導入させないことが、働きやすい職場をつくるうえで重要になっています。

職場の声や意見を大いにあげ、安心して働ける新生・山村フォトニクスをつくっていきましょう。

NECグループのみなさん、協力会社のみなさん。お気軽にご相談ください

NECグループでの職場の問題、声、労働者のたたかいを知りたい方は、

下のELICNECホームページにいますぐアクセス！

<http://www.elicnec.com/>

アクセス34万件

一人で悩まず、まずは相談を！電機ユニオンに入り、解決した事例が沢山生まれています

雇用問題・リストラなどで困ったときは

一人でも入れる **電機ユニオン** へお気軽にご相談を

Tel 03-3455-6006 Fax 03-3451-3595 メール info@denki-union.org

<http://denki-union.org/>